



知っていますか? 「おたふくかぜ」

保健医療課健康推進係
医療予防係
☎0824-73-1255
☎0824-73-1155

おたふくかぜは、正式名称を流行性耳下腺炎といい、ムンプスウイルスが耳下腺などに侵入して炎症を起こす感染症です。主に咳やくしゃみ、会話などで飛び出る飛沫から感染します。唾液のついた手などからの接触感染もあります。

主な症状としては、耳の下の耳下腺の腫れや痛み、発熱、頭痛、倦怠感などがあります。

また、起こりやすい合併症として無菌性髄膜炎や難聴があります。難聴は片側性であることが多く気付きにくいので、回復してしばらくは耳の聞こえ方に注意する必要があります。

おたふくかぜに有効な治療法はありませんが、感染を予防するワクチンがあります。ワクチン接種をしても髄膜炎や難聴の合併症を発生する可能性があります。右下の表に示すように自然感染より確率はずっと低く、日本小児学会などでは接種しておくことを強く勧めています。

おたふくかぜの合併症	自然感染での発症確立	ワクチン接種後の発症確立
耳下腺の腫れ	60～70%	3%
精巣炎	20～40%	ほとんどなし
卵巣炎	5%	ほとんどなし
無菌性髄膜炎	1～10%	0.01～0.1%
難聴	0.01～0.5%	不明

(国立感染症研究所ファクトシートより)



市では、ワクチン未接種でおたふくかぜにかかったことがない1歳から未就学のお子さんに対して、1回助成を行っています。接種をするためには事前に申請が必要です。保健医療課または各支所地域振興室・市民生活室(西城支所は、しあわせ館)に、印鑑と母子健康手帳(親子健康手帳)を持ってお越しください。申請後に指定の予診票を渡します。個別に医療機関を受診し接種してください。

子育て通信 あそびっ子

児童福祉課
あんしん支援係
☎0824-73-0051

応援します!あなたの子育て
庄原市子育てファミリー会
提供会員募集

あなたも提供会員として一緒に活動しませんか?

ファミリー・サポート事業は、育児を応援したい人(提供会員)と育児を応援してほしい人が、相互に関わり合って安心して子育てをするための、会員組織の相互支援活動(有償ボランティア)です。緊急時など必要に応じて子どもを預かります。(乳幼児から小学6年生までが対象です。)

子どもが好きな方、地域の中で子育て家庭を応援したい方は、ぜひご連絡ください。
こんなときに活動します

- 保育施設などへの送迎、保育開始前や終了後
 - 学校・保育施設の休み中(土日・祝日・長期休暇など)
 - 病後の回復期で、保育施設などへの通所が困難なとき
 - 保護者の入院や出張など、緊急時の一時預かりや宿泊支援
- この他にも必要に応じて子どもを預かる場合があります。

利用料金一覧

	平日	土・日・祝日・年末年始	宿泊	妊婦健診時・兄弟姉妹の医療機関受診時	
				(平日)	(土・日・祝日・年末年始)
提供会員への支払額	600円	700円	3,000円	600円	700円
内訳	依頼者利用料	300円	350円	200円	230円
	市の支援額	300円	350円	1,500円	470円

※利用料金は1時間当たりまたは1泊当たりの金額です。
※2人目からは半額になります。

ファミリー・サポートQ&A

Q 子育て家庭をサポートしたい気持ちはあるけど、活動できないときもあるかも…

A 事前にサポート可能な日時を伺った上で、サポートを打診した時点で提供会員の都合が良い場合に限ります。

Q 今、子育て中だけど、提供会員になれるの?

A ご自身に無理がなければ大丈夫です。同じ子育て家庭同士助け合うことで子育て仲間の輪が広がり、お子さんの友達づくりもできますね。

申し込み・問い合わせ
児童福祉課あんしん支援係
☎0824-73-0051

